

様式集

(令和3年度版)

【令和3年7月1日以降入札公告の工事に適用】

- (参考)技術提案書表紙
- 技術提案書添付書類一覧表
- (様式－1)同種又は類似工事の施工実績
- (様式－2)主任(監理)技術者又は現場代理人の資格・工事経験
- (様式－3)工程表
 - 【様式－3 記入例】
- (様式－4)施工上の課題に対する技術的所見
- (様式－5)県産資材の活用に関する所見
- (様式－6)ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書
- (様式－7)技術提案 (施工計画)
- (様式－8)技術提案 (総合的なコスト／工事目的物の性能・機能／社会的要請)
- (様式－9)施工計画の適切性に関する技術的所見
- (資料1－1)社会貢献活動実績報告書
- (資料1－2)消防団活動実績証明書
- (資料1－3)社会貢献活動実績証明書
- (資料1－4)対象工事に使用する作業船の保有状況報告書

令和 年 月 日

（契約担当者等） 殿

住 所
商号又は名称
代表者氏名
担当者氏名
連絡先電話（ ） ー

技 術 提 案 書

下記の工事について、技術提案書を提出します。

記

- 1 工事番号
- 2 工事名
- 3 工事場所
- 4 添付書類 添付書類一覧表のとおり

(令和 3 年度版)

【令和 3 年 7 月 1 日以降入札公告の工事に適用】		会社名等	
工事名		担当者氏名	
工事場所		連絡先電話	

1. 様式

様式	添付書類名 (様式)	提出の有無	備考
様式-1	同種又は類似工事の施工実績	○	
様式-2	主任 (監理) 技術者又は現場代理人の資格・工事経験	○	
様式-3	工程表	○	標準型、簡易型 I
様式-4	施工上の課題に対する技術的所見	○	簡易型 I
様式-5	県産資材の活用に関する所見	○	
様式-6	ICT 施工・3次元化等の活用提案 工事計画書	○	簡易型 I
様式-7	技術提案 (施工計画)		標準型 (橋梁維持工事を除く)
様式-8	技術提案 (総合的なコスト/工事目的物の性能・機能/社会的要請)		標準型
様式-9	施工計画の適切性に関する技術的所見		標準型 (橋梁維持工事に限る)

※上表は、青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札事務取扱要領第 2 号様式 (第 5 条関係) 「条件付き一般競争入札参加資格審査申請書 (技術提案書)」の「8 技術提案書添付書類」に該当するものです。提出する様式の「提出の有無」欄に○を記入すること。

※書類は、様式順に揃えて提出すること。

2. 添付資料

番号	対応する様式	添付資料名	提出の有無	備考
1	(第 2 号様式)	経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書 (写)	○	
2	様式-1	工事契約書 (写)、竣工登録工事カルテ受領書 (写) 等	○	(企業の施工実績)
3	様式-1	優良工事表彰状 (写)	○	
4	様式-1	表彰を受けた工事の竣工登録工事カルテ受領書 (写)	○	
5	様式-1	災害協定に関する証明書 (写)	○	
6	様式-1	地域防災への協力体制に関する証明書 (写)	○	
7	様式-1	除雪業務契約書 (写)、維持管理工事契約書 (写) 等	○	
8	様式-1	社会貢献活動実績報告書及び証明書 (写)	○	
9	様式-1	作業船の保有状況報告書及び証明資料		海上・海中工事のみ
10	様式-2	1 級技術検定合格証明書 (写)	○	
11	様式-2	監理技術者講習終了証 (写)	○	
12	様式-2	健康保険証 (写)		簡易型 II (企業実績評価型) のみ
13	様式-2	継続学習制度 (CPDS) 学習履歴証明書 (写)	○	
14	様式-2	工事契約書 (写)、竣工登録工事カルテ受領書 (写) 等	○	(技術者の施工実績)
15	様式-2	優良工事技術者表彰状 (写)	○	
16	様式-2	表彰を受けた工事の竣工登録工事カルテ受領書 (写)	○	SAFETY 優良企業 (現場代理人) 表彰の場合のみ
17	様式-2	週休 2 日実施証明書 (写)、ICT 土工活用証明書 (写)	○	

※提出する様式の「提出の有無」欄に○を記入すること。

※提出する資料は、番号順に揃えて提出すること。

※記入する行が不足する場合は、適宜追加して記入すること。

(令和3年度版)

【令和3年7月1日以降入札公告の工事に適用】

会社名： _____

同種・類似の条件		<p>同種及び類似工事の条件を記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同種の条件：入札説明書に記載されている「評価の対象となる同種工事」。 (記載例) 防波堤工事で、青森県での海上・海中の施工実績を有し、かつ、契約金額3千万円以上のもの。 ・類似の条件：公告または入札説明書に記載されている「参加資格」としての要件。 (記載例) 港湾工事で、かつ、契約金額3千万円以上のものに限る。 ただし、港湾工事の実績は青森県での海上・海中の施工実績とする。 <p>※ 求める工事規模・工法等の設定がある場合は、その工事規模等を記載すること。 例) 延長〇〇m、面積〇〇㎡以上の〇〇工事</p>
施工実績	工事番号	
	工事名	
	発注機関名	
	工事場所	(都道府県・市町村)
	契約金額 (千円)	
	工期	〇年〇月〇日 ~ 〇年〇月〇日
	受注形態等	単体・JV (出資比率)
	工事内容 (施工規模、工法等)	
表彰	有・無 (表彰名、工事名、表彰者、表彰年月日、建設業法による建設工事の種類)	
災害協定の締結	県との災害協定締結 有・無 市町村との災害協定締結 有・無	
地域防災への協力体制	有・無 (消防団協力事業所の名称、交付年月日) 又は (消防団協力活動の内容、実施年月日)	
除雪業務の実績	有・無 (業務番号、業務名、業務期間、業務場所又は工事番号、工事名、工事期間、工事場所)	
維持管理工事等の実績	有・無 (業務番号、業務名、業務期間、業務場所又は工事番号、工事名、工事期間、工事場所)	
社会貢献活動の有無	有・無 (社会貢献活動の名称、実施年月日、実施場所)	
作業船保有の有無	有・無	

【令和3年7月1日以降入札公告の工事に適用】

会社名：

配置予定技術者の 従事役職・氏名	〇〇技術者又は現場代理人 〇〇 〇〇 生年月日 年 月 日 (満 歳)
法令による資格	一・二級建設機械施工技士 (取得年) 一・二級土木施工管理技士 (取得年) 監理技術者資格 (取得年、登録番号及び登録会社) 監理技術者講習 (取得年、修了証番号) 一・二級建築施工管理技士 (取得年) ※建築工事 一級建築士 (取得年) ※建築工事 一級電気工事施工管理技士 (取得年) ※建築工事 一級管工事施工管理技士 (取得年) ※建築工事
工事 経験 の 概 要	工 事 番 号
	工 事 名
	発 注 機 関 名
	工 事 場 所 (都道府県・市町村)
	契約金額 (千円)
	工 期 ○年○月○日 ~ ○年○月○日
	受 注 形 態 等 単体・JV (出資比率)
	従 事 役 職 現場代理人、主任技術者、監理技術者等
	工 事 内 容
	工 事 種 目 ※電気設備工事及び暖冷房衛生設備工事の場合のみ記載
	CORINS登録の有無 有 (CORINS登録番号) ・ 無
の申 請時 にお ける 他工 事	工 事 番 号
	工 事 名
	発 注 機 関 名
	工 期 ○年○月○日 ~ ○年○月○日
	従 事 役 職 現場代理人、主任技術者、監理技術者等
	本工事と重複する 場合の対応措置 例) 本工事に着手する前の○月○日から後片付け開始予定のため 本工事に従事可能
	CORINS登録の有無 有 (CORINS登録番号) ・ 無
継続教育	継続教育実施団体名 取得単位数
表 彰	有・無 (表彰名、工事名、表彰者、表彰年月日)
週休2日確保工事の実績	有・無 (工事番号、工事名)
ICT活用工事の実績	有・無 (工事番号、工事名)

※ 申請時における他工事の従事状況等は、申請時に従事しているすべての工事について記載するものとし、本工事を落札した場合の技術者の配置予定を記入すること。

工 程 表

工事番号： 第〇〇号

工 事 名： 国道〇〇〇号道路改良工事

会 社 名：

項目	単位	数量	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
			10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	

■工程管理に対する技術的所見

(様式-3 記入例)

【記入例】			工 程 表						
			工事番号 第◇◇◇号 工事名 一般県道○○○○線凍雪害防止(消融雪溝)工事 会社名 (株)青森建設						
項 目	単位	数量	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20
準備工	式	1.0	1 20						
土工	式	1.0		20		28	年		
1号消融雪溝工	M	300			30		未		
2号消融雪溝工	M	350		12	21		年		
3号消融雪溝工	M	20			21	9	始		
集水柵工	箇所	10					休		◇
表層工	m ²	1,450					暇	10	20
路盤工	m ²	1,450						5	28
雑工	式	1.0							20
跡片付け工	式	1.0							21
									9
<p>■ 工程管理に係わる技術的所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工程表は週休2日の確保に対応したものであり、期間内の現場閉所日数の割合は28.5%を想定している。 ・舗装工事においては上下線の同じ箇所を施工する必要があり、一般交通への影響を考慮し、上下線をそれぞれ一連に施工する計画とする。 ・一般交通への解放を1日の作業で行う必要があり、舗装の温度管理に注意しながら1月中旬から舗装工事を実施し、2月末日の現場終了を目標とする。それまでの間は、車道への影響を最小限にできる消融雪溝工事を行う計画する。 ・施工の時間帯としては通勤・帰宅のラッシュを避けた10時から16時とする。 ・在来路盤状況の確認を行い、路盤の改良が必要な場合は監督員と協議する。 									

工事番号 : _____
工事名 : _____
会社名 : _____

■施工上の課題	〇〇対策について
項 目	具 体 的 な 施 工 計 画
〇〇対策について	

※簡易型 I に適用

県産資材の活用に関する所見

工事番号： _____
工事名： _____
会社名： _____

項目	具体的な施工計画								
	資材名	規格	単位	設計数量 (a)	県産資材 (b)	$((b)/(a)) \times 100$	製造業者名等	製造・ 販売場所等	備考
使用 予定 材料									

【令和3年7月1日以降入札公告の工事に適用】

工事番号： _____

工事名： _____

会社名： _____

ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書

施工プロセスの段階	作業内容	採用する技術番号	技術番号・技術名
<input type="checkbox"/> ① 3次元起工測量			1 空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量 2 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量 3 トータルステーション等光波方式を用いた起工測量 4 トータルステーション（ノンプリズム方式）を用いた起工測量 5 RTK-GNSSを用いた起工測量 6 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量 7 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量 8 その他の3次元計測技術を用いた起工測量 ※複数以上の技術を組み合わせても可
<input type="checkbox"/> ② 3次元設計データの作成			※3次元出来形管理に用いる3次元設計データの作成のこと。 ICT建設機械にのみ用いる3次元設計データは含まない。
<input type="checkbox"/> ③ ICT建設機械による施工 ※当該工事に含まれる右記作業内容にチェックを付ける	<input type="checkbox"/> 掘削工 <input type="checkbox"/> 盛土工 <input type="checkbox"/> 路体盛土工 <input type="checkbox"/> 路床盛土工 <input type="checkbox"/> 法面整形工 <input type="checkbox"/> 路盤工 <input type="checkbox"/> 舗装工 <input type="checkbox"/> 地盤改良工 <input type="checkbox"/> 浚渫工		1 3次元MCまたは3次元MGブルドーザ 2 3次元MCまたは3次元MGバックホウ 3 3次元MCモータグレーダ 4 その他の3次元計測技術を用いた施工 ※MC：「マシンコントロール」の略称 MG：「マシンガイダンス」の略称 ※採用する機種及び活用作業工種、施工範囲については、受注後の協議により変更しても可
<input type="checkbox"/> ④ 3次元出来形管理等の施工管理 ※当該工事に含まれる右記作業内容にチェックを付ける	<input type="checkbox"/> 出来形 <input type="checkbox"/> 品質		1 空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理 2 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理 3 トータルステーション等光波方式を用いた出来形管理 4 トータルステーション（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理 5 RTK-GNSSを用いた出来形管理 6 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 7 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理 8 その他の3次元計測技術を用いた出来形管理 9 TS・GNSSを用いた締固め回数管理
<input type="checkbox"/> ⑤ 3次元設計データの納品			

※簡易型Iに適用

【留意事項】

- 1 施工プロセスの段階及び作業内容で活用する項目にチェックを付ける。
- 2 採用する技術番号を選択し、記入する。（複数の技術番号を組み合わせても可）
- 3 各施工プロセス①～⑤の活用数に応じて評価する。

工事番号：

工事名：

会社名：

■技術提案事項	□□□
具 体 的 な 施 工 計 画	
<p>1. 提案値 (単位: ○)</p> <p>2. 具体的な施工計画内容</p> <p>3. 利用条件</p>	

※標準型 (橋梁維持工事を除く) に適用

[P ○/○]

工事番号 : _____
工事名 : _____
会社名 : _____

■技術提案事項	〇〇について
項 目	提 案 内 容
<p>【</p> <ul style="list-style-type: none">・総合的なコスト・工事目的物の性能・機能・社会的要請 <p>の中から選択して設定</p>	

※標準型に適用

工事番号 : _____

工事名 : _____

会社名 : _____

■ 施工上の課題	施工計画の適切性について
項 目	具 体 的 な 施 工 計 画
<p>(発注者が指定した 施工上の課題)</p> <p>〇〇について</p>	

※標準型（橋梁維持工事に限る）に適用

[P 〇/〇]

社会貢献活動実績報告書

会社名： _____

年度	_____年度
----	---------

第1回	社会貢献活動の名称	_____
	活動内容	〇〇地域の〇〇清掃作業等
	活動場所	〇〇市〇〇丁目 (位置図を添付のこと)
	活動年月日	_____年 月 日 時 ~ _____年 月 日 時
	参加人数	〇〇名
	証明資料	主催者又は施設管理者等の証明、感謝状、表彰状、新聞記事、地域情報紙等
	備考	_____

第2回	社会貢献活動の名称	_____
	活動内容	_____
	活動場所	_____
	活動年月日	_____
	参加人数	_____
	証明資料	_____
	備考	_____

第3回	社会貢献活動の名称	_____
	活動内容	_____
	活動場所	_____
	活動年月日	_____
	参加人数	_____
	証明資料	_____
	備考	_____

(注意事項)

1. 実績報告書は、年度ごとに別葉で作成すること。
2. ボランティア団体のイベント等に参加した場合は、そのボランティア団体名を備考欄に記入すること。
3. 活動状況の写真を添付すること。

(資料 1 - 2)

消防団活動実績証明書

1. 消防団活動に協力した内容	
2. 活動年月日	
3. 活動場所	
4. 参加人数	

(証明書)

事業所名： 殿

貴社は上記のとおり、消防団活動へ協力したのでこれを証明します。

年 月 日

消防団長等

○ ○ ○ ○ 印

※消防団活動に協力した実績を申請する際に、添付書類として表彰状、感謝状に代えて、消防団長等の証明書を提出する場合は、この証明書によるものとする。

(資料 1 - 3)

社会貢献活動実績証明書

1. 社会貢献活動 の名称	〇〇清掃・草刈
2. 活動内容	〇〇川の〇〇清掃・草刈
3. 活動場所	〇〇市〇〇丁目
4. 活動年月日	年 月 日 時 ～ 年 月 日 時
5. 参加人数	〇〇名

(証明書)

事業所名： 殿

貴社が上記のとおり、社会（地域）貢献活動を実施したことを証明します。

年 月 日

管理者名・機関名 ○ ○ ○ ○

職名 ○ ○

氏名・印 ○ ○ ○ ○ 印

※この証明書は例であり、必要事項が記載されていれば、この証明書によらなくてもかまいません。
※証明書には、主催者・施設管理者・関係機関などの押印（担当課長等）が必要です。

対象工事に使用する作業船の保有状況報告書

会社名： _____

対象工事の作業内容			
船 種			
自航船、自航船以外の別			
名 称			
規 格 (作業能力)			
建造年 及び 船齡	建造年 年、船齡 年 (船齡は公告日時点)		
原動機の窒素酸化物排出基準満足状況	すべて満足 一部満足 満足していない		
保 有 状 況	自社保有 共同保有		
共同保有の場合の共同保有者名及び保有割合 (%)	共同保有者名	保有割合 (%)	備 考
基 地 港			

※ 複数隻所有している場合でも、1隻に限って記載するものとする。

※ 添付書類：自航船については「船舶検査証書」、自航船以外については「現有作業船一覧」等